

腹腔鏡下に切除し得た後腹膜神経鞘腫の一例

松尾 勝一 田中伸之介 志村 英生
松岡 信秀 新田 智之 池田 靖洋

福岡大学医学部外科学第一

要旨：腹腔内疾患に対する腹腔鏡下手術は広く行われているが我々は後腹膜神経鞘腫に対し腹腔鏡下手術を施行した。症例は40歳男性。腫瘍は径 3 cm で肝左葉下面に存在し、左胃動脈を圧排していた。小網を超音波切開凝固装置にて切開し、後腹膜に存在する腫瘍を腹腔鏡下に摘出した。腫瘍の組織は神経鞘腫であった。腹腔鏡下手術は後腹膜の神経鞘腫に対して有用な治療法と考えられた。

索引用語：神経鞘腫, 腹腔鏡下手術, 後腹膜腫瘍, 超音波切開凝固装置